年輪

公益社団法人 小平市シルバー人材センター
会報 第175号
令和4年10月1日

小平団地　　花小金井南町　三浦　大地

目　次

シルバー万歳！元気な会員紹介①　・・・・・・2
シルバー万歳！元気な会員紹介②　・・・・・・3
2022年一斉ボランティア活動について・
「学習教室作品展」の開催・
「仕事紹介（私の職場）」　・・・・・・・・・4
シルバー今昔物語・会員のひろば　・・・・・・5
安全就業だより・・・・・・・・・・・・・・・
公報等配布事業部会　開催される・　・・・・・
シルバー派遣事業（参議院議員選挙）の報告・6
理事会の動き・会費納入のお願い・投稿要項・
「会員優待割引制度」　終了のお知らせ　・・7
新しい仲間・追悼・事業実績・編集後記　・・8

No.175

発　行　（公社）小平市シルバー人材センター
編　集　広報・ボランティア委員会
　　年輪編集グループ
住　所　東京都小平市小川東町4-2-1
　　小平元気村おがわ東内
ＴＥＬ　042-344-2120/2108
ＦＡＸ　042-345-9400
Email　kodaira@sjc.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.sjc.ne.jp/kodaira/

シルバー万歳！元気な会員紹介①

回田町　古家　清（86 歳）

Q1.　シルバー人材センターに入会したきっかけと目的をお聞かせください。

定年退職後の健康維持と、仲間を作って趣味の海釣りの時間ができればと思い入会いたしました。

Q2.　現在どのようなお仕事をされていますか？

現在は公園清掃をしております。草取りと落ち葉やゴミの掃き掃除が主な仕事内容です。

Q3.　お仕事のやりがいをどのようなときに感じますか？

もともと地元の住民で、地元の公園ですので知り合いが来て「ご苦労さん」とか「熱中症に気をつけて無理しないでね」とか声をかけてくれる時です。小さな子供達は「ポン菓子のおじさん、ありがとう」と声をかけてくれます。町内会や幼稚園などのボランティアで仲間と作ってあげていましたから顔を覚えているのだと思います。毎日が元気で楽しく働ければ良いと思います。

小川町　昼間　秀夫（71 歳）

Q1.　シルバー人材センターに入会したきっかけと目的をお聞かせください。

40 年余り続けてきた教育の仕事から、昔父が盆栽屋をやっていたこともあり次は植物を育てたいと思い、植木職として活動できるセンターに入会しました。

Q2.　現在どのようなお仕事をされていますか？

主として庭のあるご家庭の植木の剪定作業をしています。剪定鋏、ノコギリ、電動トリマーなどを自転車に載せ、庭及びその周りの植木を 10 尺ぐらいまでの 3 脚などを使って剪定しています。

Q3.　お仕事のやりがいをどのようなときに感じますか？

お客様の話をよく聞き、それに即した自分なりの提案をして作業をしていきます。完了して、前よりもよくなり、植木の未来性が見えるようになり、家の人から続けてお願いしますと言われるとうれしくなります。また、今まで考えもしなかった多くのことを植木仲間の方々から学んでこられました。

上水本町　前田　嘉克（79 歳）

Q1.　シルバー人材センターに入会したきっかけと目的をお聞かせください。

会社勤めの関係で小平市を離れている期間が長かったので、退職後、特技はないのですが「何かお役に立てることが有れば」との思いでシルバー人材センターにお世話頂くことになりました。

Q2.　現在どのようなお仕事をされていますか？

市内外を問わず、応募された約 20 名の方々とご一緒に約 3 時間の行程（5～6 ㎞）で、都内の自然散策や名所旧跡を訪ねるシルバーガイドに就業しています。自らがガイドの場所とコースを設定し、参考資料も作成する、という趣味志向ですが責任も大きい仕事です。

Q3.　お仕事のやりがいをどのようなときに感じますか？

毎回、参加者にアンケートを書いて頂きますが、異口同音に「勉強になりました」「ご苦労様でした」と感謝を述べられた時にはとてもやりがいを感じます。

よく訪れる方や地元の方から「そんな史実があったのか」と再認識された時は尚更です。

シルバー万歳！元気な会員紹介②

小川西町　植松　睦枝（75 歳）

Q1.　シルバー人材センターに入会したきっかけと目的をお聞かせください。

定年後は、まだ仕事もしたいし、趣味や好きなこともたくさんやりたい……と考えていた時、シルバー人材センターを知り、説明会に参加しました。今までとは全く違う仕事に挑戦もありかな？それも楽しいかな？と不安を抱きながら入会させていただきました。

Q2.　現在どのようなお仕事をされていますか？

いくつかの仕事をさせていただいておりますが、どれも初めてのことばかりでした。

現在、家事援助として、お子さんの食事作りをさせていただいております。4 人のお子さんがいるご家庭で、7 年ほどになりますね。

Q3.　お仕事のやりがいをどのようなときに感じますか？

アレルギーのあるお子さんもいらっしゃるので気を遣うこともありますが、「おいしい!!」「おかわり!!」と喜んで食べてくれる子供たちの笑顔に……そして帰るとき「しぇんしぇいまたきてね、バイバイ！（先生と呼んでくれます（笑））」と小さな手でタッチしてくれる 3 歳の可愛い声に、喜び、やりがいを感じ、元気をいただきます。いつまでできるかわかりませんが、もう少しの間、お役に立てたら嬉しいですね。

大沼町　石井　雅子（79 歳）

Q1.　シルバー人材センターに入会したきっかけと目的をお聞かせください。

60 歳の定年退職後、少しゆとりのある時を過ごしたいと思っていました。ところが、他市に住む友人がシルバー人材センターに登録し手内職の仕事をしていると聞き、そういう仕事はがぜん私好みと思い早速当シルバー人材センターに入会しました。

それから思いがけない方向に仕事が広がり、人様とのご縁と続き 20 年近くは瞬く間でした。

Q2.　現在どのようなお仕事をされていますか？

都営高齢者住宅（シルバーピア）に住まわれている方の生活協力員（ワーデン）の仕事をしています。ワーデンの役目は住まわれている方の安否確認、コミュニティづくり、緊急時の対応等です。

又、幼稚園児男の子の退園から塾まで手をつないで送る仕事もしています。元気な僕ちゃんは「おばあちゃん！」と言って園での出来事を一生懸命にお話しして下さいます。

Q3.　お仕事のやりがいをどのようなときに感じますか？

働くということは楽しいことばかりではありません。困難に遭い、しょげてしまい、この難をどう潜り抜けようかと寄る年波の知恵を駆使することもあります。

なぜかそんな後には明るい気持ちなれる事などが起こったり、何よりも後期高齢者でも仕事が頂ける、働けるということが健康の素になっている様な気がします。

2022 年一斉ボランティア活動について

11 月 13 日(日)に予定しておりました一斉ボランティア活動ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全体での活動を中止とさせていただきました。

代わりといたしまして 11 月 9 日(水)に理事・監事、広報・ボランティア委員、ほのぼの館・さわやか館の就業会員、事務局の職員で、中央公民館、ほのぼの館、さわやか館の周辺道路の清掃活動を行うことといたします。

毎年たくさんの会員の方が参加しているセンターの大切な事業のひとつですので、昨年に引き続きの中止は非常に残念ですが、皆様の健康・安全面を第一に考慮した結果このような対応とさせていただきました。ご理解の程よろしくお願いいたします。

「学習教室作品展」の開催

小平市シルバー人材センターでは学習教室として 21 の教室を開講しております。

今年度も感染症対策を徹底し、第 25 回「学習教室作品展」を開催する予定でございます。

会員の皆様も是非、見に来て頂くようお願いいたします。

日　時：令和４年 10 月４日（火）～
10 月９日(日)
午前 10 時～午後５時まで
（但し、４日は正午から、
最終日の９日は午後４時まで）
場　所：小平市中央公民館　１階
ふれあいギャラリー
出展内容：書道・絵画・染色・絵手紙・水彩画

「仕事紹介（私の職場）」

―― 環境美化推進啓発業務 ――

小川町　森　茂

私が今、行っているのは、駅周辺のゴミ拾い及び美化啓発活動です。

主に鷹の台駅、新小平駅周辺を担当しています。6 月から始まった業務で、朝 7 時からと早い時間ですが、頑張って早起きをして活動しています。

特に鷹の台駅周辺は近くに学校が多いため、通学中の生徒や学生が多いです。学校側の指導もあると思いますが、ゴミのポイ捨てなどは少なく、比較的キレイな街になっていると思います。

しかし、その中でも目立つのは、タバコの吸殻、ペットボトル、空き缶です。

サラリーマンが自宅から駅までの道路のゴミを、ビニール袋を持って拾いながら通勤している姿も見られます。地元の方の美化への意識の高さがよく分かる光景です。それを見ると私達も負けてはいられないという気持ちになりますね。

朝の挨拶をすると「御苦労様！」と返ってくる言葉に幸せを感じながら、気持ちよく活動をしています。

活動の自粛・中止が続く今だからこそ振り返りたい、小平市シルバー人材センターの歩み。

シルバー今昔物語
其の参：元気村入居の頃

平成 16 年、学校跡地に「小平元気村おがわ東」が誕生！本格的な活動拠点として移転入居、新たな飛躍を誓う。

●元気村への入居直後、活気あふれる事務局内

昭和 51 年 10 月、小川町の商工会館に間借りし発足したセンターは、翌年４月に学園西町へ移り、さらに昭和 58 年６月、小平市福祉会館に移転。その間、順風満帆の発展を遂げ、会員数も激増、本格的な事業活動の拠点確保が、会員みんなの念願となってきました。

そして平成に入り、14 年には、廃校となる小学校の跡地利用として−市民の自主的な活動及び交流の促進並びに市民の福祉の増進を図ることを目的とする−「小平元気村おがわ東」の設置が計画され、小平市から元気村への移転入居が打診される運びに。

センターでは早速「施設建設検討委員会」を設けて種々の検討を開始。一級建築士の資格を持つ会員に、センターが要望する利用施設の平面図の作成を依頼、市へ提出するなど、積極的に対応し、平成 16 年２月、元気村の誕生と同時に移転入居。本格的な事業活動の拠点確保という長年の望みを果たしました。

当時の会長・有賀亮氏は−この 10 年を振り返って、先ずは宿願のセンターの施設が実現したことであります。市のご好意により、小平元気村に完成し、移転、センター事業の活動の拠点が確定し、会員の働く場所となり、交流の場となり、気力を一新しての事業運営が開始されました−と述懐しています（設立 30 周年記念誌『あゆみ』より抜粋）。そんな今昔物語を有する元気村の事務局、どうぞ気軽に足をお運びください。

会員のひろば

50 年ぶりの「アルハンブラ宮殿の思い出」復活

鈴木町　前田　高弘

昭和 48 年秋、三重県の県立高校の２年生だった私は「アルハンブラ宮殿の思い出」というクラシックギターの名曲を文化祭のステージで独奏した。薬指・中指・人差し指の３連弾で奏でられるトレモロに拍手を浴びたのを覚えている。マンドリンクラブのギターパートで主旋律のマンドリンに伴奏することに飽きてしまい、ギターで独奏することになってしまった。今思うとあんな難しい曲にはまらなければもう少しましな受験勉強をして違う人生を歩いていたかもしれない。

昭和 50 年上京、54 年就職、令和２年にサラリーマンを退職するまで 45 年間、海外を含めてあちこち引っ越した。昭和 47 年製のギターと楽譜は引っ越し荷物の片隅に追いやられながらも無くなることなくついてきてくれたが長く弾くことはなかった。

令和２年秋そのギターが復活した。アルハンブラの左手の押さえる位置は覚えていたが、右手のトレモロが昔のように動かない。コロナ禍で巣ごもりギター需要も増えたらしい。

ギター教室も盛況である。プロの先生につき基礎から学び直してもうすぐ２年になる。66 歳で弾くトレモロはおそらく高校の文化祭独奏よりも上手くなっているように思う。50 年ぶりの復活にわくわくしながら新しい曲にも挑戦する毎日である。

安全就業だより

組織活性・安全委員会
安全就業推進員

今年は梅雨明けが早く、厳しい暑さが続きました。その頃から事故の報告が増えてきました。事故の型は転倒事故が多く、その約半数の方が転倒によって骨折やひびがはいる怪我を負っています。熱中症や蜂による虫刺されも報告されました。手当が遅れると命を落とす危険性がある事故です。

事故を未然に防止し、安全に就業するには（安全心得から抜粋）

・作業は安全第一を心がけ、急いだりあわてたりしないこと。

・健康には常に注意し、良好な状態で就業すること。

事故「0」を目指しましょう。

R4･7 月までの事故件数（カッコ内は R3 の件数　合計は年間件数）

月	合　計	傷害事故	就業中等	途上･帰路	内自転車	賠償事故	自動車事故	ｼﾙﾊﾞｰｶﾞｲﾄﾞ	レクリエーションその他
４月	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
５月	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
６月	5 (1)	4 (0)	1 (0)	3 (0)	3 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
７月	1 (3)	1 (2)	1 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合　計	**8 (7)**	**7 (5)**	**4 (4)**	**3 (1)**	**3 (1)**	**1 (2)**	**0 (0)**	**0 (0)**	**0 (0)**

公報等配布事業部会　開催される

令和４年７月１日に約８年ぶりの公報等配布事業部会が開催され、小平市より打診のあった、令和５年度からの『市報こだいら』全戸配布業務について検討しました。

検討の結果、４ 月に実施したアンケートの結果では『市報こだいら』の配布に協力できると回答した会員が 263 名しか見込めず、全戸配布をするには十分な人数とは言えないこと等から、今回打診のあった件については見送ることとなりました。

シルバー派遣事業(参議院議員選挙)の報告

去る７月 10 日（日）に執行された参議院議員選挙において、当センター会員 154 名が選挙投票事務業務に従事いたしました。昨年 10 月に執行された衆議院議員選挙に続けて派遣就業としては２回目となり、就業人員も前回に比べて 20 名増員しての就業となりました。

仕事内容としましては、選挙前日の会場設営及び当日のリハーサル。選挙当日は、投票に来られた方への案内、鉛筆・記載台の消毒作業を行いました。ご協力いただきました会員の皆様ありがとうございました。

理事会の動き

決議事項

第３回　６月 23 日(木)

1. 令和４年６月期入会会員の承認（13 名：女性４名・平均 68.3 歳、男性９名・平均 71.4 歳）
2. 公報等配布事業部会の委嘱の承認について

第４回　７月 28 日(木)

1. 令和４年７月期入会会員の承認（10 名：女性５名・平均 76 歳、男性５名　平均 70.4 歳）
2. センターの事務費率の改訂について

第５回　８月 25 日(木)

1. 令和４年８月期入会会員の承認（12 名：女性２名・平均 70 歳、男性 10 名・平均 71 歳）

令和 ４年度会費納入のお願い

今年度の会費 2,000 円が未納入の方は、事務局まで直接納入、又は郵便局の貯金口座に振込んでください。
口座番号　00140＝1＝755843　口座名義（公社）小平市シルバー人材センター
※就業中の方は、配分金から引き落とします。

※ 会費はセンター運営に必要な経費の一部に充てますので、就業の有無にかかわらず毎年 5 月末日までに納める義務があります。退会を希望される方は退会届を提出し、会費が未納の場合は納めてください。

皆さんの投稿お待ちしています

１月７日号の原稿締切は 11 月７日です。

『年輪』会員のひろば　係

会員のひろばは、会員同士の交流の場です。皆さんの日々の感想、ひとこと、何でも結構です。形式にはこだわりません。お届けください。

- 届　け　方　郵送、事務局持込み、Eメール
- 『年輪』発行月　４月、７月、10 月、１月
- 原稿締切日　発行月の２ヵ月前

「会員優待割引制度」終了のお知らせ

平成 20 年６月より開始された「会員優待割引制度」ですが、令和４年 10 月末日をもちましてサービス終了といたします。

新しい仲間（6・7・8月　入会者）

Welcome

第１地域	
氏　名	住　所
川田　俊幸	小川町
佐々木　邦夫	小川町

第２地域	
金子　正伍郎	栄町
山城　美恵	栄町
佐藤　信彦	小川西町
太田　和三	小川東町
近藤　芳子	小川東町
豊嶋　晴樹	小川東町
和久井　芳男	小川東町

第３地域	
粕谷　昇司	学園西町
野崎　紀子	学園西町
神垣　明子	学園東町
山本　勇二	上水本町
大森　喜代志	津田町

第４地域	
岩﨑　正和	大沼町
田中　栄一	大沼町
鶴田　隆	大沼町
松田　久美	大沼町
三鴨　美智子	大沼町
菅原　國忠	仲町
今村　廣幸	天神町
芳賀　久美子	天神町
春田　稔	美園町

第５地域	
飯島　勇	回田町
黒田　美江子	喜平町
穂坂　俊一	喜平町
村井　紀子	喜平町
宮崎　章	御幸町
藤本　佳幸	上水南町
松原　五穂子	上水南町
板垣　兵屋	鈴木町
川島　靖朗	鈴木町
鈴木　映子	鈴木町

第６地域	
鳥居　淑男	花小金井
根本　正裕	花小金井

配分金支払日

10/17（月）	11/17（木）
12/19（月）	1/17（火）

追悼

ご冥福をお祈り申し上げます

高橋　章　様　　86 歳　喜平町

事　業　実　績

令和４年	受託件数（件）	就業人数（人）	就業率（%）	配分金（千円）	材料費（千円）	事務費（千円）	計（千円）	会員数（人）		
								男性	女性	合計
５月	635	700	59	31,746	2,413	2,733	36,892	812	373	1,185
６月	776	837	70	36,720	2,926	3,231	42,877	817	373	1,190
７月	696	845	71	35,230	2,516	3,176	40,922	819	378	1,197

編集後記

今年は厳しい暑さが続きました。日中の作業中に、一瞬ふらっとして気を引き締めなおした方もいらしたのではないでしょうか。

小平市の「新型コロナウイルス感染症に関連する情報」によると、『東京都におけるリバウンド警戒期間は終了しましたが、今後も引き続き、3 密の回避、人と人との距離の確保、マスクの正しい着用、手洗いなどの手指衛生など、基本的な感染予防策を徹底しましょう。』

『年輪』は紙面での会員同士の交流の場です。「会員の広場」、「仕事紹介（私の職場）」、“ちょっとひと休み”、「私の〇〇」、「表紙の写真」、詩、短歌、俳句、旅行記、写真、絵や版画など皆様の積極的な投稿をお待ちしております。

（広報・ボランティア委員　『年輪』編集グループ　S・I）